

新しい学年がスタートし、今年度こそはN I E・新聞を使った授業を行ってみようと思ったものの、何から始めていいかわからない。こんなふうに戸惑っている先生方も多いかと思えます。

私が行うN I Eの最初の授業は、相手が小学生や中学生、あるいは大人であろうと、決まって次のようなものです。

- ① まず、全員に同じ日の新聞を持参させます。持参するように指示した当日の新聞がいいと思います。また、新聞をいつ使うかに関係なく、指示した翌日に持ってきてもらいます。こうすると新聞が揃いやすいからです。新聞を購読していない家庭もあることを前提に、N I Eの授業を進めて行かなければなりません。そのような家庭の子どものために、新聞販売所に頼んで残っている新聞を分けてもらっておくといいです。新聞は発行日から2、3日を過ぎると処分してしまうので、取り置いてもらいたい発行日の前日か当日にお願いしておきたいものです。
- ② 最初の授業の冒頭、各自の机の上に置いた新聞の第1ページを表に向けるよう指示します。テレビ面を第1ページだと思っている子どももいます。家の表札のように、新聞名が大きく書かれている方が第1ページで、新聞では「1面」ということを教えましょう。1面には何があるかを尋ねると、写真、広告、新聞名などの声があがります。高学年では、欄外の発行号数という答えも出ますし、中学生では「天声人語」を答える生徒もいるでしょう。発達段階に応じて、「見出し」「リード」「本文」「題字」「コラム」の用語も教えていきます。題字の近くに書かれている5桁の数字が発行号数で、この数字を360で割ると、その新聞がおよそ何年前に創刊されたのかが分かります。現在発行されている新聞の多くが、明治10年代に創刊されています。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)